

救急服（冬）仕様書  
（上衣長袖・下衣）

草加八潮消防局

この仕様は、草加八潮消防局における消防吏員用救急服(冬)上下について定める。  
なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及び下衣の別については十分留意するものとし、概要図のとおりとする。

## 仕様

### 1 総則

- (1) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ(ヨリ)、ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (2) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (3) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後、ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、所属ごとにまとめて納品すること。
- (4) 納入業者は早急に試作品を提出し、担当者の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (5) この仕様書に疑義を生じたときは、担当者の指示を受けなければならない。
- (6) 採寸については、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。(下衣股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。)
- (7) 女性用の打合わせは右上前とし、他は男性と同様とすること。
- (8) 替襟は標準附属の1枚とする。

### 2 形式(SR立体型裁断)

#### (1) 上衣

長袖・カッター衿型肩章付、前立ファスナー式、袖口ファスナー式、左右胸ポケット雨蓋付、前比翼ファスナー式、脇部切り替え、脇下ベンチレーション機能、替衿付、左袖ペンライト入れ付き

#### (2) 下衣

ワンタック、両脇ポケット付き、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ5本付、左右後インダーツ式貼付ポケット、裾ルイス仕上げ

### 3 主材料

#### (1) 上衣

ア 素 材：テイジン ピッケ <K 8 5 4 4 0 >  
イ 混紡率：再生ポリエステル 1 0 0 % (表)  
中空多孔形状ポリエステル 7 0 % (裏)  
綿 3 0 % (裏)  
吸汗防汚剤 (練り込み)

ウ 色 相：C / # グレー (指定色)

## (2) 下衣

ア 素 材：エコサキソニー <4 4 - S K >  
イ 混紡率：ウール 3 0 . 0 %  
生ポリエステル 6 9 . 5 %  
導電性繊維 0 . 5 %  
(強撥水・撥油) 加工

ウ 色 相：C / # G R Y (指定色)

## 4 縫製条件

### (1) 針数

3 c m間で地縫いは1 2 針以上、飾り縫いは1 2 針以上、オーバーロックは8 針以上とする。

### (2) 穴かがり

上衣はネムリ穴とする。上衣の前立は肩章、衿台はヨコとする。

### (3) 釦付

機械付又は手付とする。

手付は2 本の糸を1 個の穴に3 ~ 4 回通し根巻は3 回以上とする。

### (4) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテترون糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

## 5 縫製要領

### (1) 上衣

#### ア 主衿

テترون芯を入れ、衿巾は中央で4 . 5 c m (衿合巾3 . 5 c m)、衿先巾6 . 7 c mとする。

#### イ 比翼幅

上前部は巾3 . 8 c mとし、下前部は巾3 . 5 c mにて折返し、衿台より裾までステッチミシンを入れる。

#### ウ 衿吊

衿吊は所定のものを衿付中央に、はさみ縫い付けとする。

エ 胸ポケット

胸ポケットは左右2個で雨ボタン付とする。雨ボタンには所定のテトロン芯を入れる。

雨ボタンは巾中央で高さ6.0cm(端部で高さ4.5cm)、横14.0cm、胸ポケットは横巾13.5cm、深さ14.5cm、インダーツとする。

雨蓋はマジック止めとする。(ループは不可)

オ ペン刺し

左胸ポケット雨ボタンの中心部から3.5cm内側に入った所に巾3.5cmのペン差しをつけ、左ポケットにも内側より巾2.5cmのペンセクションを設ける。

カ ペンライト入れ

左袖に巾4.0cm、長さ13cmのペンライト差しを縫い付ける。

キ 前立て

前立ては比翼式ファスナーとし、面ファスナーを4箇所取り付ける。

ク 背ヨーク

背ヨークは一枚仕立とし、ヨーク巾は中央で19cm、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。

ケ 肩縫い

片倒しステッチ縫いとする。

コ 脇身頃

脇身頃は裾から袖口までハギを入れ、腕の活動域を広げ、活動時においてシャツがずり上がらない構造とする。

サ 背タック

袖付より背中心へ7.5cm入った位置に深さ3.0cmのタックを左右各1ずつとる。

背ヨークから17.0cm下迄簾縫わないこと。

更にもその位置から裾迄を3mmの飾りステッチにて完全に止めること。

シ ベンチレーション

通気性を良くするため脇下部にベンチレーション機能を設ける。

ス 袖

3枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをファスナーあき止りまでかける。後袖切り替え線上の袖口に突合せのファスナーあきを設ける。

ファスナー開き部分に、三角マチ布をカフス先端まで付ける。前袖切り替

え線も肩袖側に片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。脇袖切り替えは前袖後袖側へ片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。

セ 袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかける。(インターロックミシン可)

ソ 袖口(長袖及び半袖)

長袖は後袖切り替え線上の袖口に突合せのファスナーあきを設け、ファスナー開閉式とする。

タ 片布・品質表示

所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫い付ける。

チ サイズネーム

衿付中央の下縁にはさみ縫い付ける。

ツ 階級章台

下前身頃雨ブタ付根、中央上部1.5cm上にタテ2.5cm、ヨコ4.0cmのマジックテープを縫い付ける。

テ 肩章

巾は5.0cmとし、端を袖付けの縫目に縫込みクロスステッチはしないこと。肩章の先は衿付根部より2.0cm下がった位置とする。

ト 裾折り返し

裾は三ツ巻き縫いとする。

ナ 所属ネームワッペン

救急服胸部左胸ポケット上部に名札(ネームワッペン)取り付け用の台座を縫い付ける。

なお、名札の仕様については別添概要図のとおりとする。

ニ 替衿(内側濃灰色)

指定のブロードにて衿台部分を濃灰色にした巾3.5cm、衿先巾7.5cmの替衿を作成し、シャツ本体の衿台内側に直径10.0mmの4ツ穴ボリ釦を5箇所付け、替衿台衿下部にはステッチをかける。さらに替衿が付けられるように衿台内側の釦と間隔を合わせネムリ穴をかける。

ヌ 反射布

表生地に指定のトランスファーフィルムを接着し、巾5.5cm、長さ10.0cmの筒状の肩章反射布を作成し、本体の肩章に通しておく。

ネ 背ネーム

背ヨーク部に消防局指定のネームをプリントする。

## (2) 下衣

### ア 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

### イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約35mm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、門止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

### ウ 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各1個付ける。ポケット口の長さ160mmとし、口の上下端に門止めをする。口にはコバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。

### エ 後

後中心の尻縫いは二重縫い、裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒しステッチをかける。

後身を切り替えた中心側身頃の、尻部下辺りを斜めに切り替え、下身頃側へ飾りステッチをかける。

### オ 後ポケット

左右後に口幅16.5cm、深さ18cmのインダーツ式貼りポケットを各1個付ける。

口の両端は門止めをする。裁ち目は2つ折り縫い、又はオーバーロックかがりとする。

口巾・向当て布の両端は袋の飾り縫いで縫い込むこと。

### カ ベルトループ

ベルト通し幅55mm、長さ25mmのものを両脇に各1本、通し幅55mm、長さ50mmのホームベース型のものを、前タック位置、後中心の3本、合計5本付ける。ループ幅の両端はコバステッチをかける。取り付け方法はマーベルト上部に付け、長さ50mmのループ内側を地縫いし、15mmの長さを取りベルト下に挟む。

### キ シック補強

内股クロス十字部にシック布を補強のため4箇所縫い止める。

### ク 裾

裾はオーバーロックのハーフ始末とする。

ケ 脇縫い

後へ片倒しとし、飾りステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

コ 内股補強

縫い割し、股交差部に左右対称の三角形型のハギを入れ、活動における屈伸時の緩和を図る。

サ サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

シ 片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

### 救急服（長袖）上衣サイズ表

（出来上がり寸法 単位：cm）

	バスト	着丈	肩幅	袖丈	カラー
1号	110	75	46	56	40
2号	115	78	48	58	41
3号	119	81	49	60	42
4号	119	75	49	55	43
5号	125	78	51	57	45
6号	129	81	53	59	44

### 救急服下衣（ズボン）サイズ表

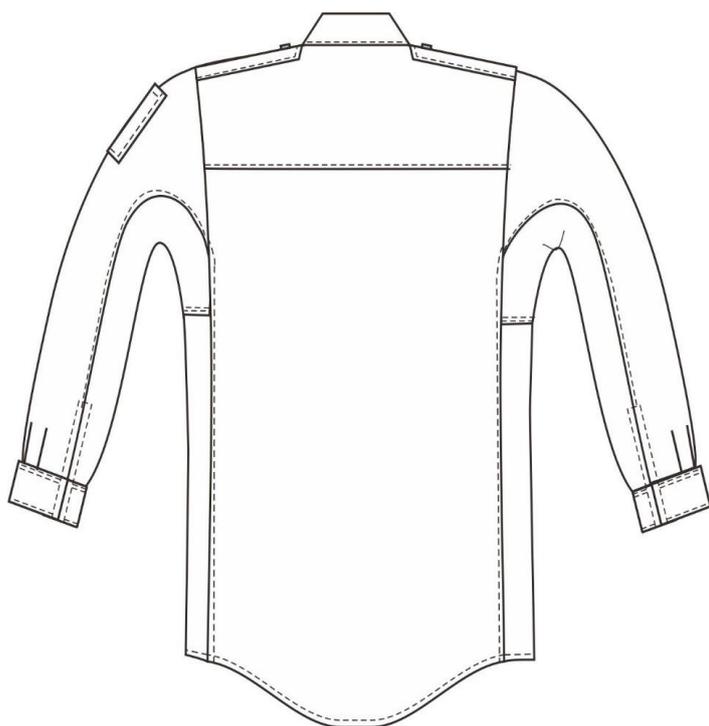
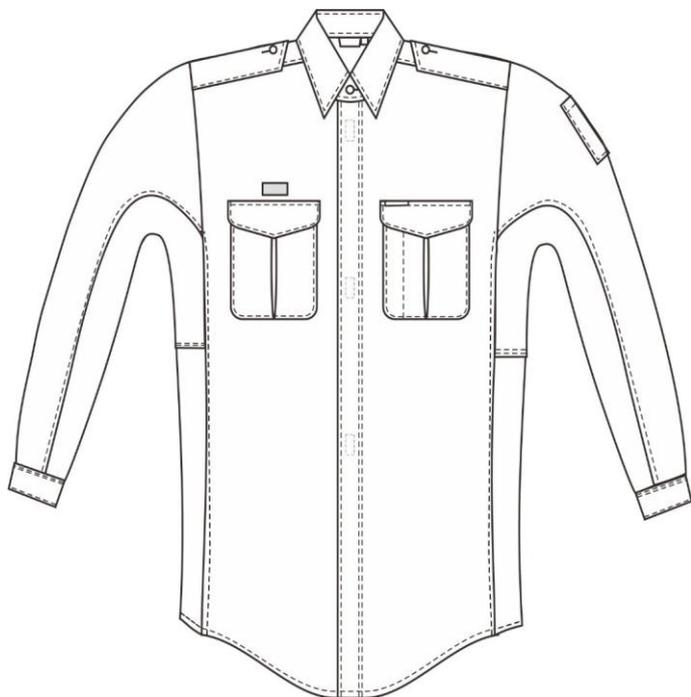
（出来上がり寸法 単位：cm）

	ウエスト	ヒップ	裾上げ
1号	73	102	フリー
2号	76	102	フリー
3号	79	104	フリー
4号	82	106	フリー
5号	85	108	フリー
6号	88	110	フリー
7号	91	113	フリー

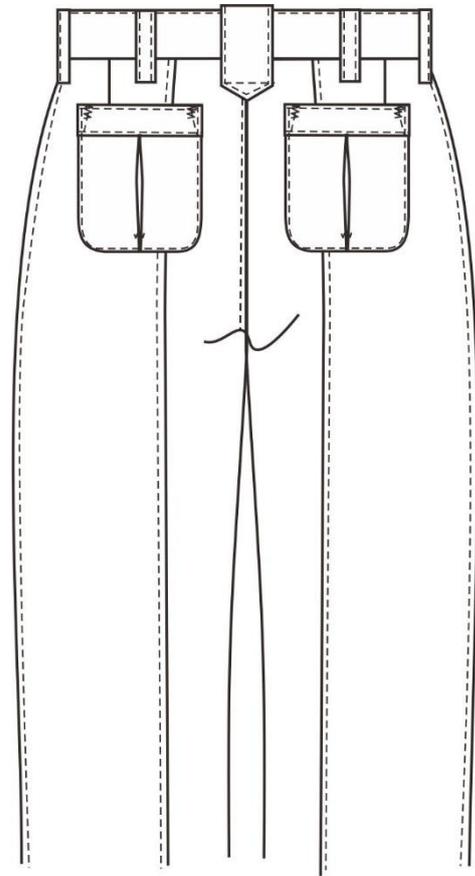
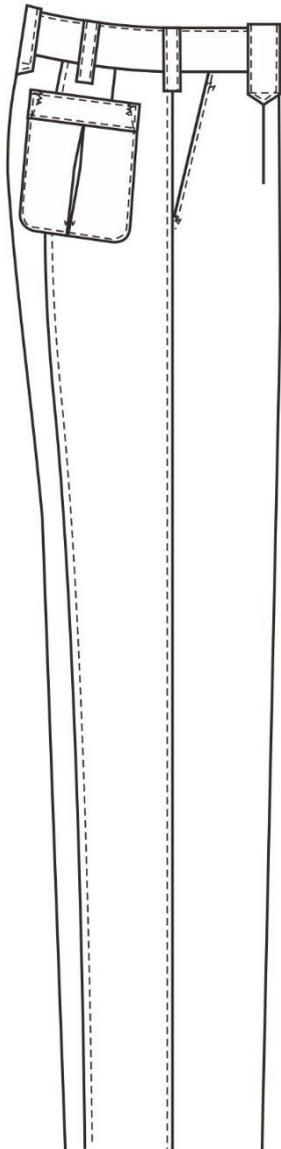
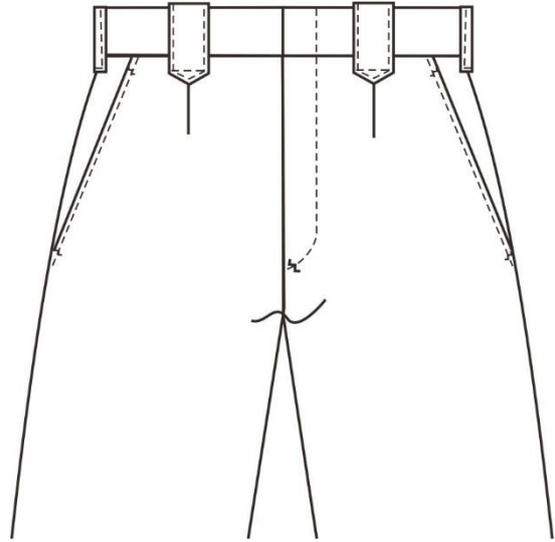
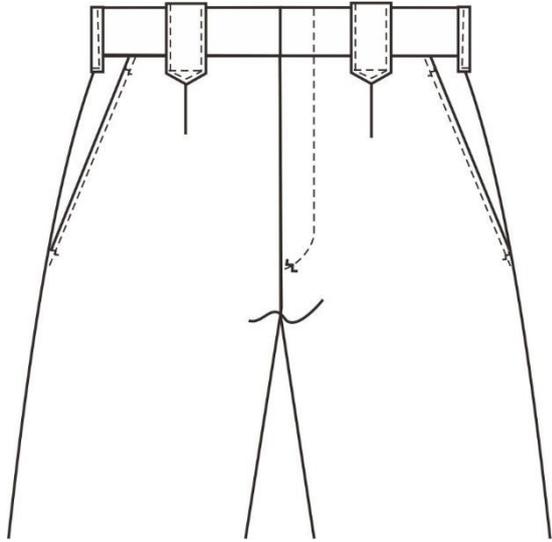
8号	95	117	フリー
9号	100	119	フリー
10号	105	123	フリー

概要図

上衣長袖



下衣



救急服（夏）仕様書  
（上衣長袖・上衣半袖・下衣）

草加八潮消防局

この仕様は、草加八潮消防局における消防吏員用救急服（夏）上下について定める。

なお、男性用及び女性用の別、また、上衣及び下衣の別、長袖及び半袖の別については十分留意するものとし、概要図のとおりとする。

## 仕様

### 1 総則

- (1) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）、ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (2) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (3) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後、ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、名簿に基づき、所属ごとにまとめて納品すること。
- (4) 納入業者は早急に試作品を提出し、担当者の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (5) この仕様書に疑義を生じたときは、担当者の指示を受けなければならない。
- (6) 採寸については、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。（下衣股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。）
- (7) 女性用の打ち合わせは右上前とし、他は男性と同様とすること。

### 2 形式

#### (1) 上衣

カッター衿型肩章付、前立ファスナー式（長袖・半袖）、長袖は袖口ファスナー式、左右胸ポケット雨蓋付、前比翼ファスナー式、両脇部裁腹付き、両脇部ベンチレーション機能、替衿付、左袖ペンライト入れ付き

#### (2) 下衣

ワンタック、両脇ポケット付き、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、ベルトループ5本付、左右後インダーツ式貼付ポケット、裾ルイス仕上げ

### 3 主材料

(1) 上衣

ア 素材：キュプラ混高通気トリコット < T 4 5 0 3 5 >

イ 混紡率：ポリエステル 85% キュプラ 15%

導電性繊維入り

ウ 色相：C / # T S 1 (指定色)

(2) 下衣

ア 素材：エコトロピカル < 3 3 - S K >

イ 混紡率：ウール 30%

再生ポリエステル 69.5%

導電性繊維入り 0.5%

(強撥水・撥油)加工

ウ 色相：C / # G R Y (指定色)

4 縫製条件

(1) 針数

3 c m間で地縫いは12針以上、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。

(2) 穴かがり

上衣はネムリ穴とする。上衣の前立は肩章、衿台はヨコとする。

(3) 釦付

機械付又は手付とする。

手付は2本の糸を1個の穴に3~4回通し根巻は3回以上とする。

(4) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテترون糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

5 縫製要領

(1) 上衣

ア 主衿

テترون芯を入れ、衿巾は中央で4.5 c m (衿合巾3.5 c m)、衿先巾6.7 c mとする。

イ 比翼幅

上前部は巾3.8 c mとし、下前部は巾3.5 c mにて折返し、衿台より裾までステッチミシンを入れる。

ウ 衿吊

衿吊は所定のものを衿付中央に、はさみ縫い付けとする。

エ 胸ポケット

胸ポケットは左右2個で雨ブタ付とする。雨ブタには所定のテトロン芯を入れる。

雨ブタは巾中央で高さ6.0cm(端部で高さ4.5cm)、横14.0cm、胸ポケットは横巾13.5cm、深さ14.5cm、インダーツとする。

雨蓋はマジック止めとする。(ループは不可)

オ ペン刺し

左胸ポケット雨ブタの中心部から3.5cm内側に入った所に巾3.5cmのペン差しをつけ、左ポケットにも内側より口巾2.5cmのペンセクションを設ける。

カ ペンライト入れ

長袖の左袖には巾4.0cm、長さ13cmのペンライト差しを縫い付ける。

半袖にも付ける。

キ 前立て

前立ては比翼式ファスナーとし、面ファスナーを4箇所取り付ける。

ク 背ヨーク

背ヨークは一枚仕立とし、ヨーク巾は中央で19cm、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。

ケ 肩縫い

片倒しステッチ縫いとする。

コ 脇身頃

脇身頃は裾から袖口までハギを入れ、腕の活動域を広げ、活動時においてシャツがずり上がらない構造とする。

サ 背タック

袖付より背中心へ7.5cm入った位置に深さ3.0cmのタックを左右各1ずつとる。

背ヨークから17.0cm下迄簾縫わないこと。

更にその位置から裾迄を3mmの飾りステッチにて完全に止めること。

シ ベンチレーション

通気性を良くするため脇下部にベンチレーション機能を設ける。

ス 袖

3枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをフ

ファスナーあき止りまでかける。後袖切り替え線上の袖口に突合せのファスナーあきを設ける。

ファスナー開き部分に、三角マチ布をカフス先端まで付ける。前袖切り替え線も肩袖側に片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。脇袖切り替えは前袖後袖側へ片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。

#### セ 袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかける。(インターロックミシン可)

#### ソ 袖口(長袖及び半袖)

長袖は後袖切り替え線上の袖口に突合せのファスナーあきを設け、ファスナー開閉式とする。

半袖の袖口は折り返し付で折り返し巾4.0cmとし、ステッチミシンをかける。

#### タ 片布・品質表示

所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫い付ける。

#### チ サイズネーム

衿付中央の下縁にはさみ縫い付ける。

#### ツ 階級章台

下前身頃雨ブタ付根、中央上部1.5cm上にタテ2.5cm、ヨコ4.0cmのマジックテープを縫い付ける。

#### テ 肩章

巾は5.0cmとし、端を袖付けの縫目に縫込みクロスステッチはしないこと。肩章の先は衿付根部より2.0cm下がった位置とする。

#### ト 裾折り返し

裾は三ツ巻き縫いとする。

#### ナ 所属ネームワッペン

救急服胸部左胸ポケット上部に名札(ネームワッペン)取り付け用の台座を縫い付ける。

なお、名札の仕様については別添概要図のとおりとする。

#### ニ 替衿(内側濃灰色)

指定のブロードにて衿台部分を濃灰色にした巾3.5cm、衿先巾7.5cmの替衿を作成し、シャツ本体の衿台内側に直径10.0mmの4ツ穴ポリ釦を5箇所付け、替衿台衿下部にはステッチをかける。さらに替衿が付けられるように衿台内側の釦と間隔を合わせネムリ穴をかがる。

ヌ 反射布

表生地に指定のトランスファーフィルムを接着し、巾5.5cm、長さ10.0cmの筒状の肩章反射布を作成し、本体の肩章に通しておく。

ネ 背ネーム

背ヨーク部に消防局指定のネームをプリントする。

(2) 下衣

ア 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約35mm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、閉止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各1個付ける。ポケット口の長さ160mmとし、口の上下端に閉止めをする。口にはコバステッチと6mm幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。

エ 後

後中心の尻縫いは二重縫い、裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒しステッチをかける。

後身を切り替えた中心側身頃の、尻部下辺りを斜めに切り替え、下身頃側へ飾りステッチをかける。

オ 後ポケット

左右後に口幅16.5cm、深さ18cmのインダーツ式貼りポケットを各1個付ける。

口の両端は閉止めをする。裁ち目は2つ折り縫い、又はオーバーロックかがりとする。

口巾・向当て布の両端は袋の飾り縫いで縫い込むこと。

カ ベルトループ

ベルト通し幅55mm、長さ25mmのものを両脇に各1本、通し幅55mm、長さ50mmのホームベース型のものを、前タック位置、後中心

の3本、合計5本付ける。ループ幅の両端はコバステッチをかける。取り付け方法はマーベルト上部に付け、長さ50mmのループ内側を地縫いし、15mmの長さを取りベルト下に挟む。

キ シック補強

内股クロス十字部にシック布を補強のため4箇所縫い止める。

ク 裾

裾はオーバーロックのハーフ始末とする。

ケ 脇縫い

後へ片倒しとし、6mm幅ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

コ 内股補強

縫い割し、股交差部に左右対称の三角形型のハギを入れ、活動における屈伸時の緩和を図る。

サ サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

シ 片布

左脇ポケット袋布に縫着する。

### 救急服（長袖）上衣サイズ表

（出来上がり寸法 単位：cm）

	バスト	着丈	肩幅	袖丈	カラー
1号	110	75	46	56	40
2号	115	78	48	58	41
3号	119	81	49	60	42
4号	119	75	49	55	43
5号	125	78	51	57	45
6号	129	81	53	59	44

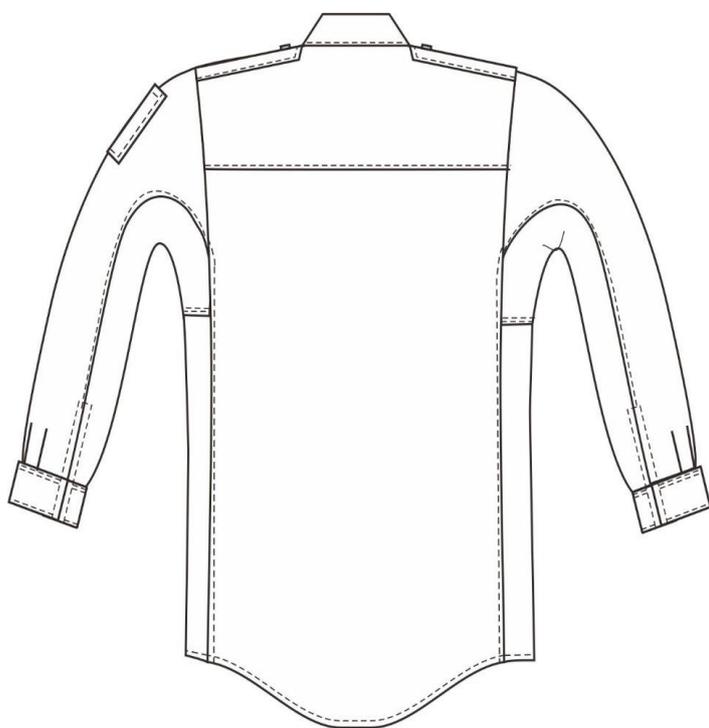
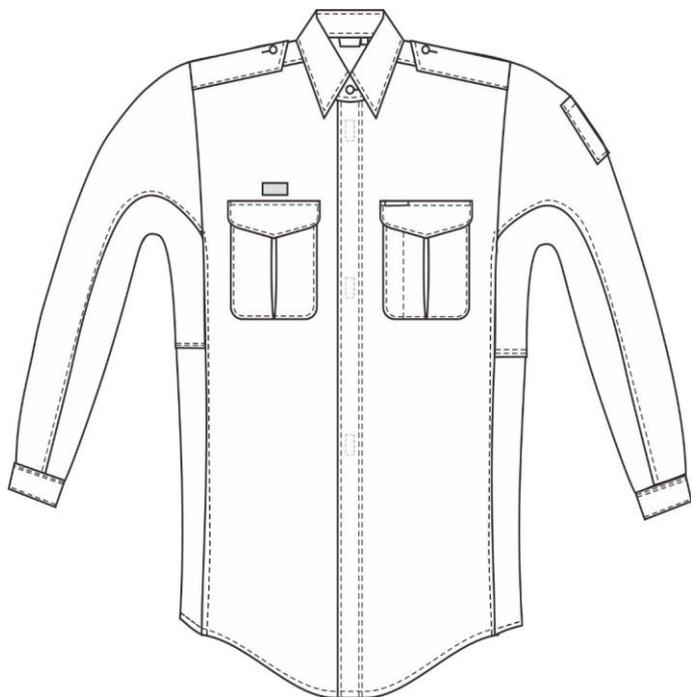
### 救急服下衣（ズボン）サイズ表

（出来上がり寸法 単位：cm）

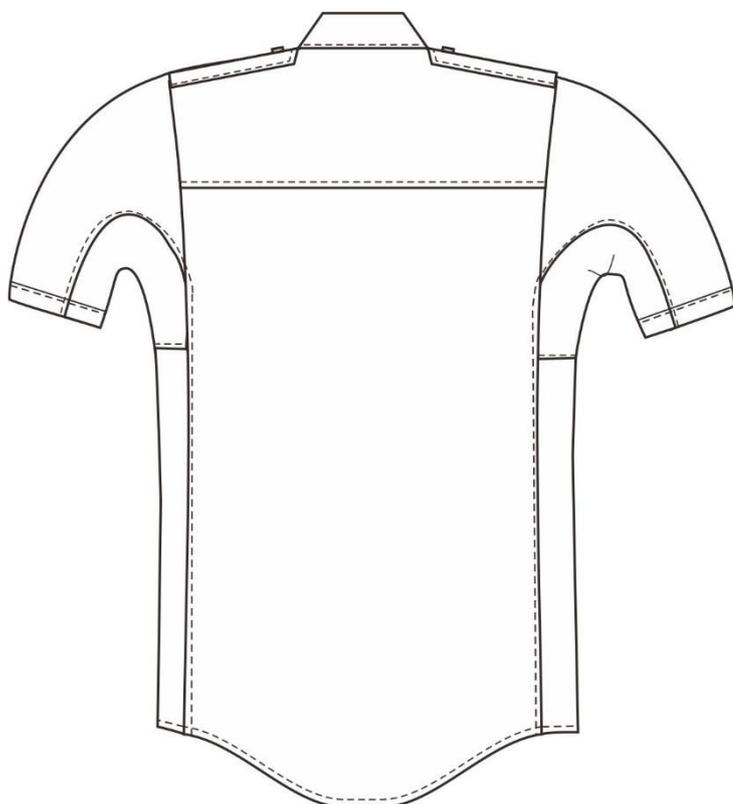
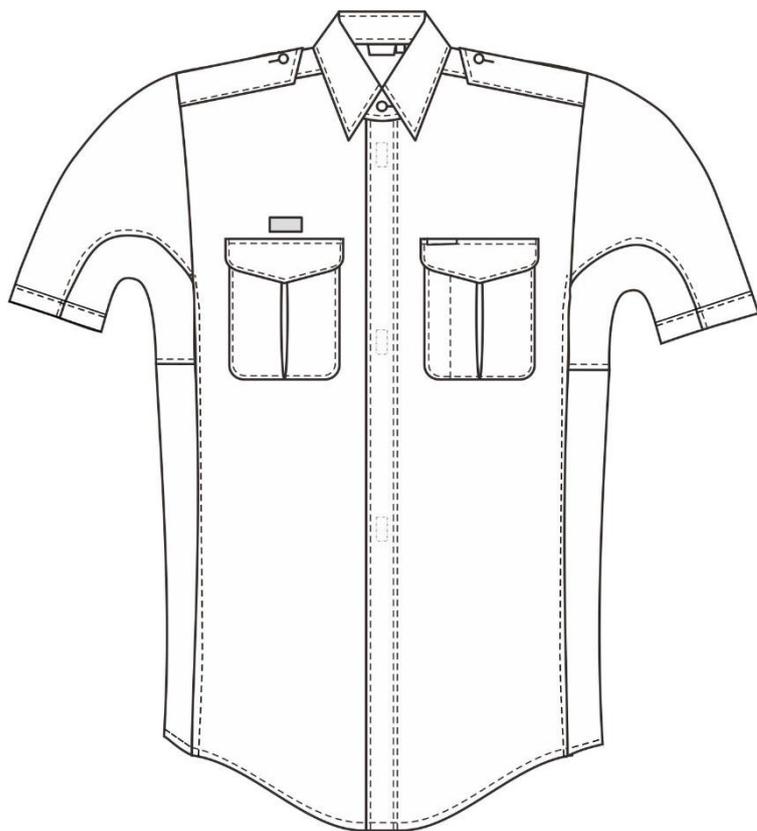
	ウエスト	ヒップ	裾上げ
1号	73	102	フリー
2号	76	102	フリー
3号	79	104	フリー
4号	82	106	フリー
5号	85	108	フリー
6号	88	110	フリー
7号	91	113	フリー

8号	95	117	フリー
9号	100	119	フリー
10号	105	123	フリー

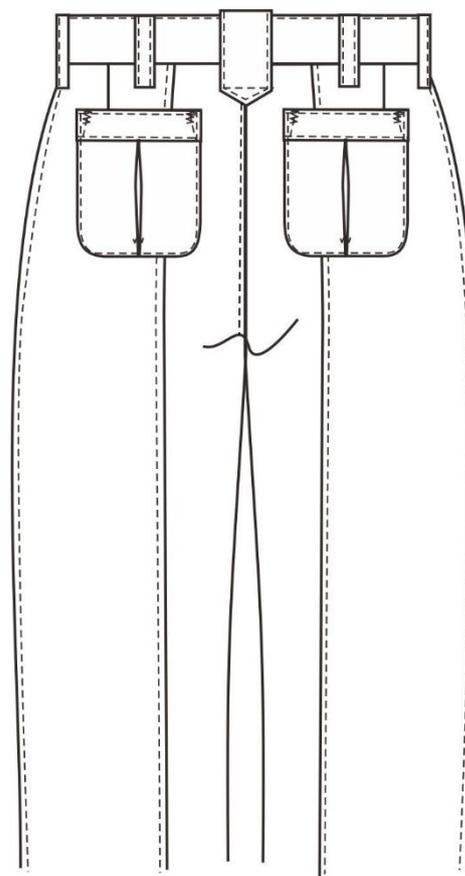
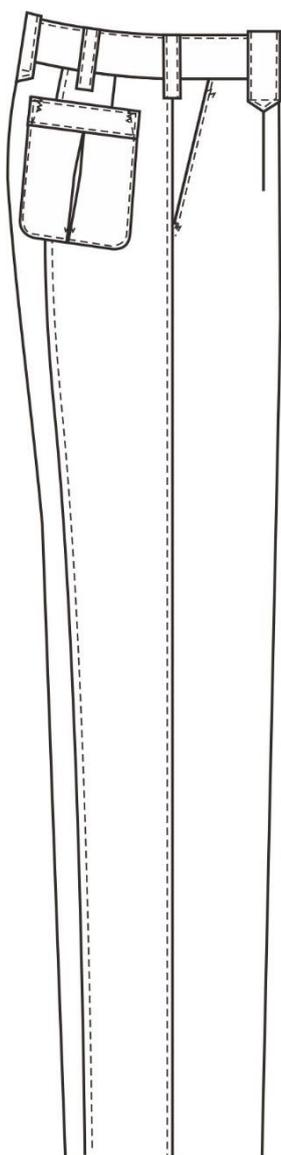
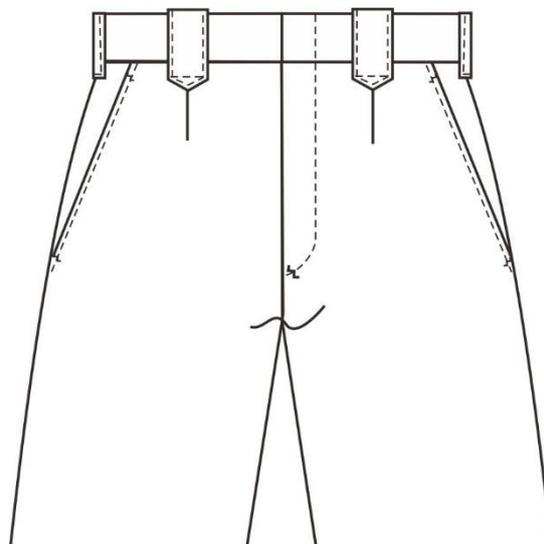
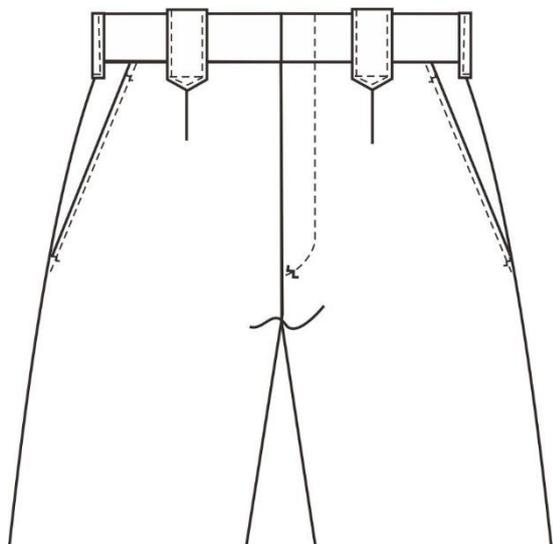
概要図  
上衣長袖



上衣半袖



下衣



救急服用替襟  
仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

草加八潮消防局の消防吏員が着用する救急服の替襟とする。

指定のブロードにて衿台部分を濃灰色にした巾3.5cm、衿先巾7.5cmとし、その他詳細については別添救急服（夏）及び救急服（冬）仕様書のとおり。

### 2 素材

別添救急服（夏）及び救急服（冬）仕様書のとおり。

### 3 色

白色。内側が濃灰色

### 4 サイズ

既存草加八潮消防局職員の救急服及び別添救急服（夏）及び救急服（冬）仕様書のと通りの救急服のサイズにあったもの。それぞれ1、2、3、4、5、6号用

救急服用反射肩章

仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

草加八潮消防組合消防吏員が着用する救急服の肩章とする。

### 2 素材

草加八潮消防組合が指定するトランスファーフィルム

### 3 色

シルバー色

### 4 寸法

巾5.5cm、長さ10.0cmの筒状とする。

冬帽（男性用）

仕 様 書

草加八潮消防組合

## 仕様

### 1 概要

この冬帽（男性用）の形状は、別添概要図のとおりとする。

### 2 型式

円形、前ひさし及びあごひも付きとする。

### 3 材料

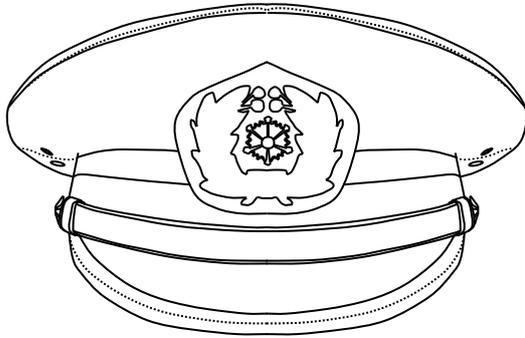
区分	仕様	用途
主材料	ニッケ（S 8 9 0 2 C）C / # E 紺 カシミアドスキン 帯電防止（CL）加工 強撥水・防汚れ （スーパーセルボニック加工） 毛 7 0 % ポリエステル 3 0 % （同色・同品質以上のもの）	帽部
副材料	黒色合成樹脂	前ひさし あごひも
釦	金属製消防章マーク入り 1 5 m m	あごひも止め

### 4 縫製

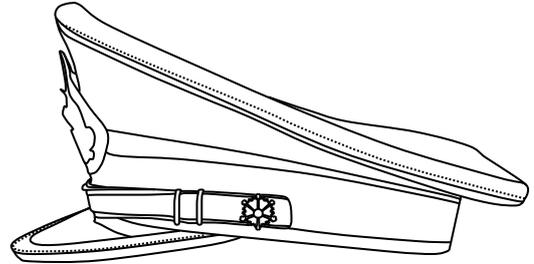
区分	要領
あごひも	あごひもの両端は、帽の両側において消防章を付けた金色金属製釦を各 1 個で止めること。 形状は、別添概要図のとおりとすること。
き章	銀色金属製消防職員用き章をモール製金色桜で抱擁すること。 台地は地質と同色とすること。 形状及び寸法は別添概要図のとおりとすること。
周章	帽の腰回りには、消防士用蛇腹線を巻くこと。
縫製・一般	各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 各部の合標、曲線は十分注意すること。
その他	記載されていない箇所については担当の指示によること。

概要図

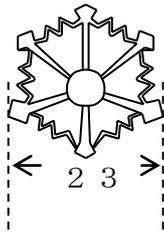
正面



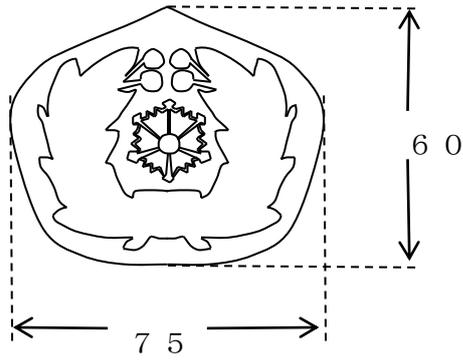
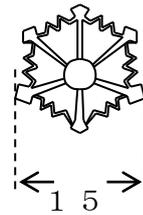
側面



消防章



あごひも留め消防章



(数字は寸法を示し単位はミリメートルとする。)

夏帽（男性用）  
仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

この夏帽（男性用）の形状は、別添概要図のとおりとする。

### 2 型式

円形、前ひさし及びあごひも付きとする。

### 3 材料

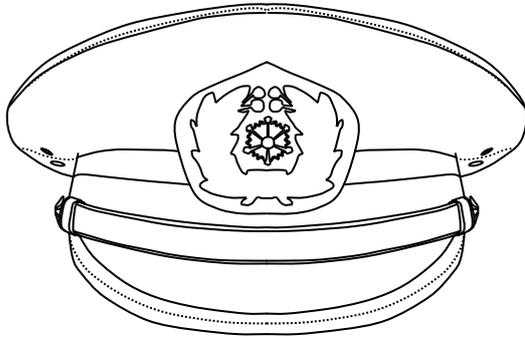
区分	仕様	用途
主材料	ニッケ<EW7360> c/# FD紺 ポプリン 毛 30.0% 再生ポリエステル69.5% 静電性繊維 0.5% (同色・同品質以上のもの)	帽部
副材料	紺色合成樹脂	前ひさし あごひも
釦	金属製消防章マーク入り 12mm	あごひも止め

### 4 縫製

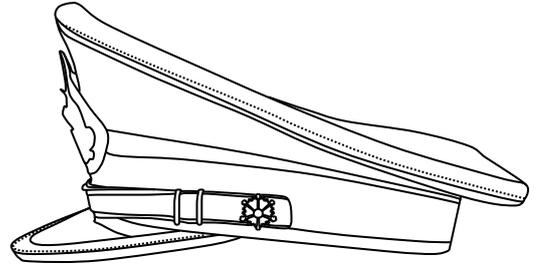
区分	要領
あごひも	あごひもの両端は、帽の両側において消防章を付けた金色金属製釦各1個で止めること。 形状は、別添概要図のとおりとすること。
き章	銀色金属製消防職員用き章をモール製金色桜で抱擁すること。 台地は地質と同色とすること。 形状及び寸法は別添概要図のとおりとすること。
周章	帽の腰回りには、蛇腹線を巻くこと。
縫製・一般	各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 縫い目の飛び、外れがないこと。 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 各部の合標、曲線は十分注意すること。
その他	記載されていない箇所については担当の指示によること。

概要図

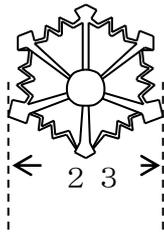
正面



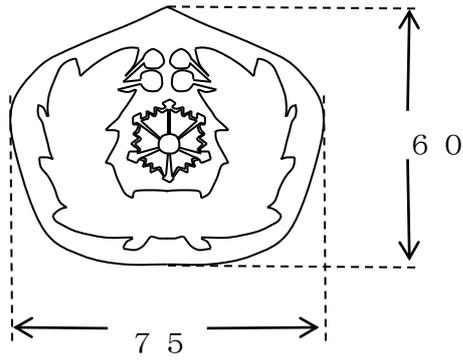
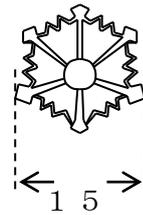
側面



消防章



あごひも留め消防章



(数字は寸法を示し単位はミリメートルとする。)

冬帽（女性用）  
仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

この冬帽（女性用）の形状は、概ね概要図のとおりとする。

### 2 形式

円形つば型とする。

### 3 色及び地質

濃紺の毛織物（カシミヤドスキン又は同等品以上とする。）

### 4 き章

銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱擁する。

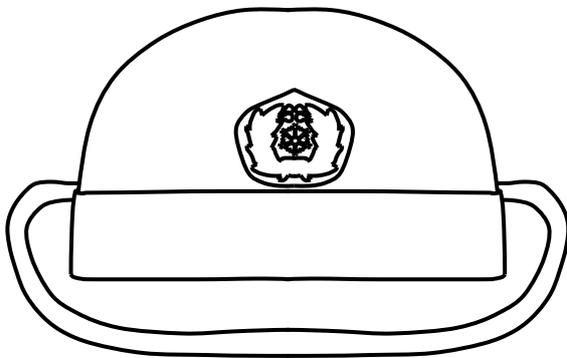
台地は濃紺とする。

形状及び寸法は、次の概要図のとおりとする。

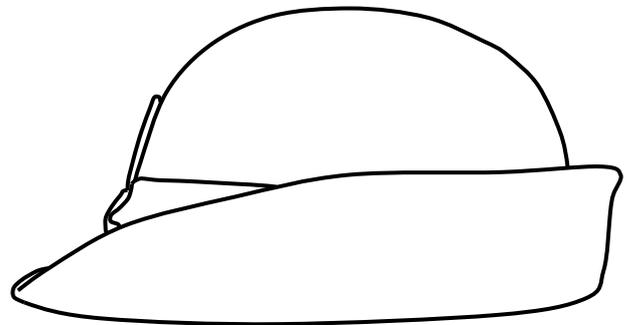
### 5 周章

帽の腰回りには、黒色のななこ織を巻くこと。

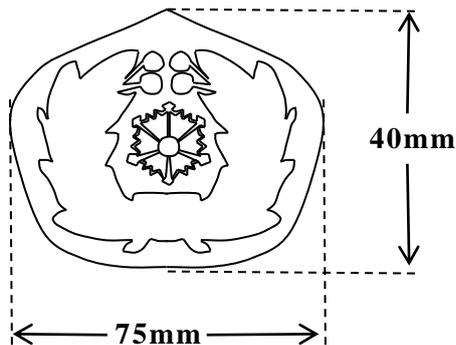
## 概要図



前 面



側 面



き 章

夏帽（女性用）  
仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕 様

### 1 概要

この夏帽（女性用）の形状は、概ね概要図のとおりとする。

### 2 材料

区分	名称	規格	用途
主材料	表裏地	ブルー 表地 ニッケル〈EW7360〉 C／# FD紺 ポプリン エコストレッチトピカル 毛 20.0% 再生ポリエステル 79.5% 制電性繊維 0.5% (同色・同品質以上のもの)	頭 丸つば 頭表裏
副材料	頭芯地	熱融着糸 ポリエステル 93% 綿 7% 加熱処理し、強度・剛性を与えたもの	
	つば芯地	熱融着糸 ポリエステル 100% 加熱処理し、強度・剛性を与えたもの	丸つば内
	テープ	ポリエステル 100% 幅26mm 黒色	頭付け根
	帯章	レーヨン、グログラン織 幅39mm 黒色	
	すべり	表 ポリエステル 100% 幅30mm 抗菌防臭加工付 裏 ポリエステル 100% 幅30mm	あご紐止め
	櫛	金属製 黒色 幅 約28mm 長さ 約29mm	左右各1個 髪止め
	あご紐	丸ゴム 黒色 長さ 約35cm	止め
	縫い糸	ポリエステルスパン 50番	本縫い
	き章	銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱擁 台地は濃紺 形状は概要図のとおり	前中央止め
	氏名カード	アセテート	

### 3 構造

ハイバック型丸帽子で、き章を前面に付けた女性用帽子とする。

### 4 裁断及び縫製条件

- (1) クラウン及び丸つば、まちに色違いのないように注意すること。
- (2) 飾り縫いは縫い目から約 2 m m 幅に施すこと。
- (3) 縫い代は約 4 . 5 m m でミシン縫い、頭約 1 2 針、つば約 8 針とする。

針数： 3 c m 間の表面に表れた糸数

区分	縫製要領
頭	芯地を加工後、頭の形に成型、表地裁断、縫製後芯地にかぶせ、裾をテープで巻く。
丸つば	表地（芯地と接着したもの）を裁断縫製する。
まとめ	上記「頭」と「丸つば」を縫い合わせる。
すべり	内側頭回りにミシンで縫い付ける。
ゴム紐	櫛の根元後部に取り付ける。
帯章	下端をつば元に密着するように巻く。 帯章全面中央に帯章飾りを付ける。
櫛	内側頭回りの左右中央に取り付ける。
き章	き章中央下端がき章飾りの上端と接する位置に取り付ける。
片布	片布の下部 1 c m 縫い代分だけ長くし、すべり上端の裏側に縫い付ける。

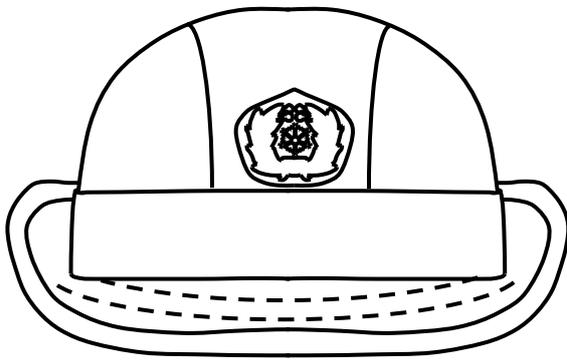
### 5 寸法

S	M	L	L L
5 5 c m	5 7 c m	5 8 c m	5 9 c m

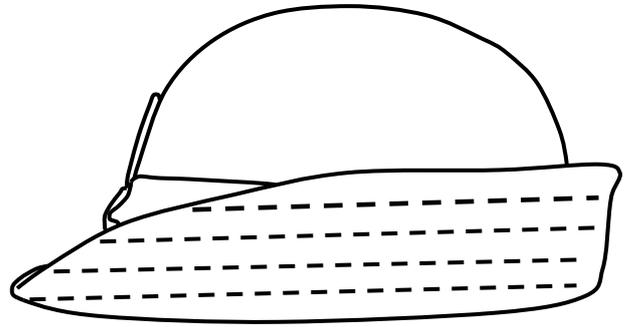
### 6 周章

帽の腰回りには、紺又はその類似色とし、ななこ織を巻くこと。

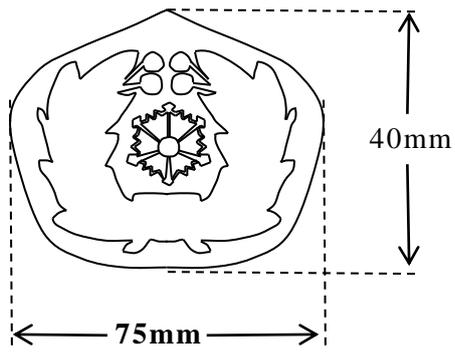
概要図



前 面



側 面



き 章

雨 衣  
仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

この雨衣は、上衣・ズボンの2点を一組とし、フードを付属とする。形状は別添概要図1のとおりとする。

素材には東レ“エントラント®・HP”を使用し、防水性と透湿性（3層構造）を併せ持ったものとする。

耐水圧は20,000ミリ以上、5,000g/m<sup>2</sup>・24h以上（A-1法）とする。

この雨衣は上下別売り可能とし、上衣、ズボンでサイズが選択できることとする。

### 2 上衣型式

ステン襟、袖はボックス袖、袖口は半ゴム半ベルト式、背ヨーク（空気抜き）付、左右脇ポケット雨ブタ付き、前立てはファスナー式で前面釦止めヒヨク付きとし、背部に「草加八潮消防局SAITAMA」と指定文字で背面上部に2段でプリントする。

#### (1) 材料

区分	仕様	用途
表地	エントラント®・HP #1100T 規格 Width 145×Length 100 イエロー（F15）色 厚さ0.27mm 重量 120g/m <sup>2</sup> 堅牢度4級以上 ナイロン100%リップスルータフタ 56dt ×56dt 135T×114T（同色・同品質以上のもの）	上衣、フード
裏生地	ナイロン66 22dt使用ハーフトリコット （同品質以上のもの）	上衣、フード
芯地	ポリエステル100% No.LB19SW 白 100cm巾	上衣、フード
目張りテープ	エントラント®・3層用シームテープ α-E3 00 20mm巾	各接合部分全般
縫糸	ポリエステル100% GKIII #60/50 00	

釦	樹脂製頭セル P-6 径 13mm 4 p c e / s e t イエロー (襟 4 個、前タテ 7 個、ポケット 2 個)	上衣
ゴム	30M/R 30mm 巾タックゴム 白 (同品質以上のもの)	上衣袖口
ファスナー	樹脂ファスナー MAX No.5 C N O P D A 67~86cm イエロー	

(2) 構造

区分	要領
襟	二枚裁ちで身ごろをはさみこみ、フード脱着用のボタン(4個)を取付けること。
前面	前身頃は釦止め前タテとファスナーで三重構造とする。 前タテは7箇所の釦止めとする。 左右腰部にポケットを設け、雨蓋は釦で開閉出来るようにする。 縫製箇所裏面はその防水要所に目貼りテープを溶着する。
裾	ゴム紐とストッパーで絞ることが出来るようにする。
袖口	ラグラン袖とし、袖口はゴムとマジックテープで調節が出来るようにする。
ポケット	左右腰部にポケットを設け、雨蓋は釦で開閉出来るようにする。
背面	後見頃は背抜きなしとし、背上部に指定の文字をプリントする。
紐	レーヨンコード(ヒートカット処理) 7mm 径 中太 黒
フード	フードは襟部に着脱可能とし、マスクはマジックテープで調整出来るようにする。 裏面(生地裏面)はトリコットとする。 襟との脱着用に釦(4個)を裾に付けること。
プリント位置	別添概要図1の背中位置に「草加八潮消防局 S A I T A M A」と指定文字で2段にプリントすること。
プリント色	指定色(反射シルバー)とすること。

縫製 (上・ズボン)	<p>各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。</p> <p>縫い目の飛び、外れがないこと。</p> <p>糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。</p> <p>縫い糸はポリエステル100% GKⅢ #60/5000を使用すること。</p> <p>接地接合部は、地縫「ステッチ」目張り仕上げとすること。</p>
---------------	---

### 3 ズボン型式

左右一枚取りの前開きズボンとする。

#### (1) 材料

区分	仕様	用途
表地	<p>エントラント®・HP #1100T</p> <p>規格 Width 145×Length 100</p> <p>イエロー(F15)色 厚さ0.27mm 重量120g/m<sup>2</sup> 堅牢度4級以上</p> <p>ナイロン100%リップスルータフタ</p> <p>56dt×56dt 135T×114T</p> <p>(同色・同品質以上のもの)</p>	ズボン
裏生地	<p>ナイロン66 22dt使用ハーフトリコット</p> <p>(同品質以上のもの)</p>	ズボン
目張りテープ	<p>エントラント®・3層用シームテープ α-E300 20mm巾</p>	各接合部分全般
ひも	<p>レーヨンコード(ヒートカット処理)7mm径 中太 黒</p>	
縫糸	<p>ポリエステル100% GKⅢ #60/5000</p>	
釦	<p>樹脂製 前部1個 裾左右各1個</p>	
ゴム	<p>ポリエステル 30M/R 白 25mm巾</p> <p>(同品質以上のもの)</p>	ズボン腰部

ファスナー	(腰部) 樹脂ファスナー M A X No. 3 C F S D A 止め 2 0 c m イエロー	
	(裾部) 樹脂ファスナー M A X No. 3 C F S D A 止め 3 0 c m イエロー	

(2) 構造

区分	要領
前立て	ファスナー開閉式で上部を釦1個で止めること。
腰部	30mm巾のビスタックゴム入れ絞りとする。
裏地	裏地(生地裏面)はトリコットとする。
裾	釦により裾口の絞りが出来るようにする。内側にファスナーを設け、開閉出来るようにする。
背面	臀部に縫目のない裁断とする。
その他	記載されていない箇所については担当の指示によること。
目張りテープ	縫製箇所裏面はその防水要所に目貼りテープを溶着する。

4 背文字デザイン

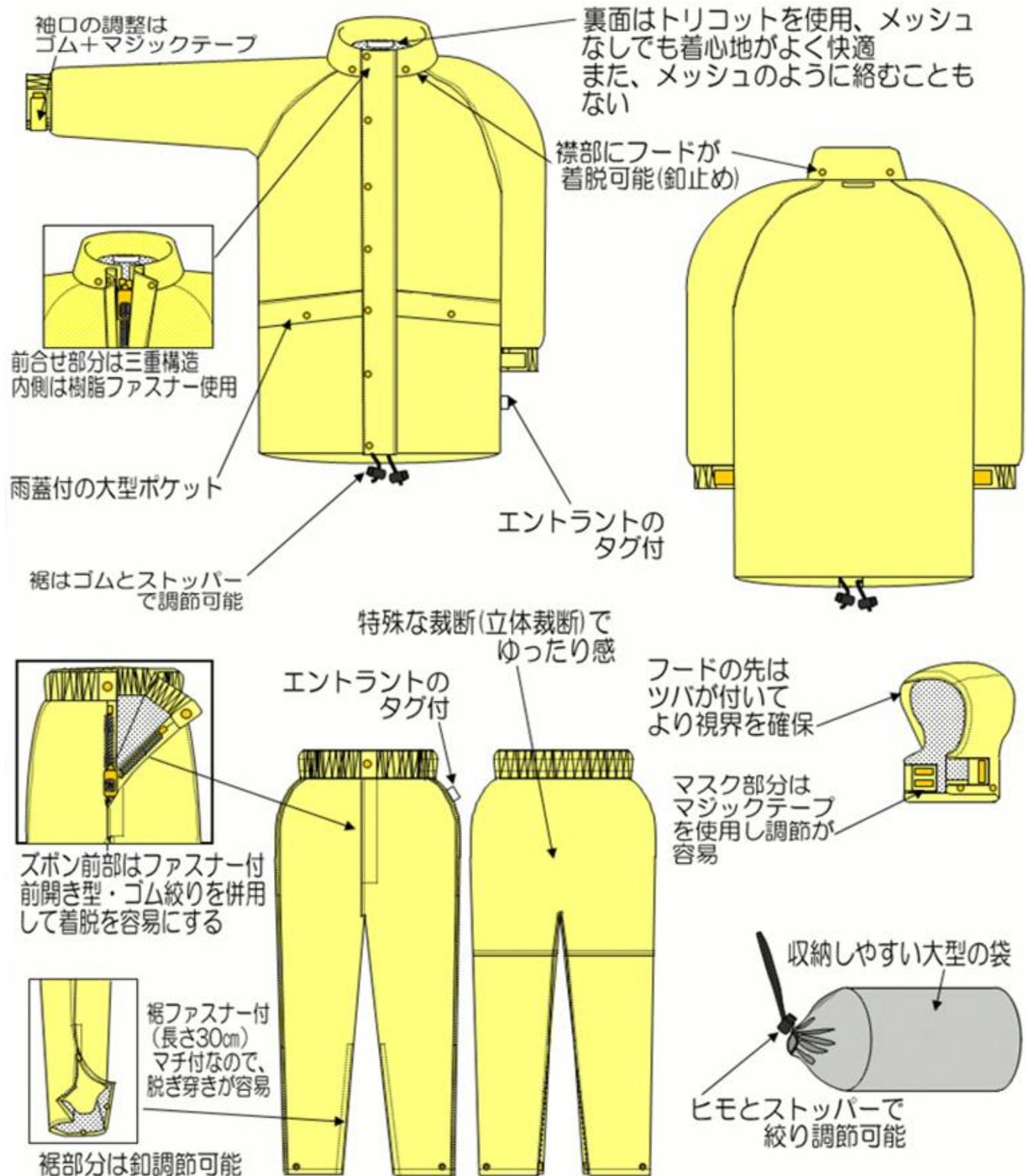
詳細(大きさ等)は担当者と協議すること。

**草加八潮消防局**  
**SAITAMA**

# 概要図 1

(以下は本文で示した内容を参考図面で補足する。)

- 1 フード着脱に襟・フード裾各々にドット釦を打つこと。
- 2 フードの先に芯地を入れ、視界を確保出来るようにする。
- 3 スポンの裾ファスナー部開閉部にはマチを設けること。



ティーマーシャツ（長袖）  
仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

このTシャツ（長袖）は、吸汗速乾素材により、縫製、加工されたもので、丸首、長袖とする。

### 2 色及び地質

色は「紺色」で、原料はポリエステル85%以上のものとする。

### 3 ネーム等

- (1) 左胸部に概要図1のSY-FIRE-BUREAUの図柄を「白色」で印刷する。
- (2) 背面上部に概要図2のSOKA YASHIO FIRE BUREAUの文字を「白色」で印刷する。
- (3) 左上腕部分に、各個人の名字を「白色」で刺繍する。  
※ 草加 太郎の場合「草加」となる。

概要図1

左胸図柄



概要図2

背中上部文字

**SOKA YASHIO**  
**FIRE BUREAU**

ティーマン (半袖)  
仕様書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

この半袖Tシャツは、吸汗速乾素材により、縫製、加工されたもので、丸首、半袖とする。

### 2 色及び地質

色は「紺色」で、原料はポリエステル85%以上のものとする。

### 3 ネーム等

- (1) 左胸部に概要図1のSY-FIRE-BUREAUの図柄を「白色」で印刷する。
- (2) 背面上部に概要図2のSOKA YASHIO FIRE BUREAUの文字を「白色」で印刷する。
- (3) 左上腕部分に、各個人の名字を「白色」で刺繍する。  
※ 草加 太郎の場合「草加」となる。

概要図1

左胸図柄



概要図2

背中上部文字

**SOKA YASHIO**  
**FIRE BUREAU**

前面



背面



スライドバックル式バンド（制服（冬）用）

仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

このバンドは、概要図のとおりとする。

### 2 本帯色及び地質等

(1) 濃紺色のナイロン製とし、巾30mmとする。

(2) バンド端部にホツレ止め金具を付ける。

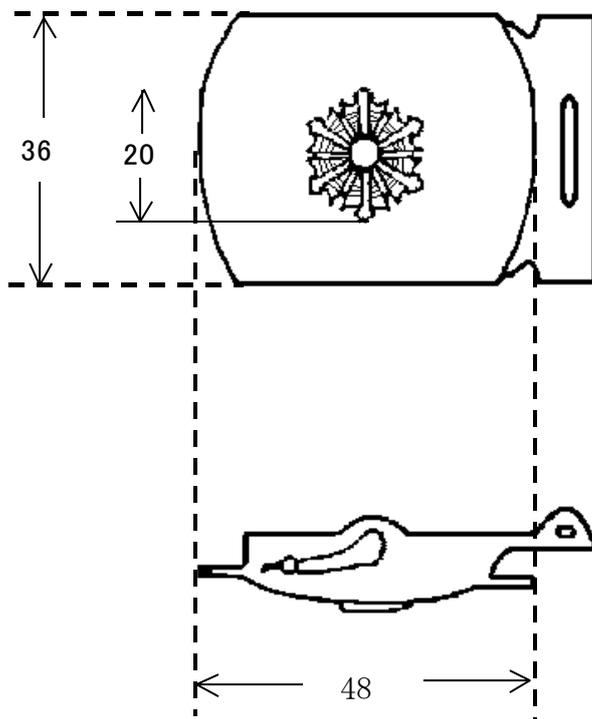
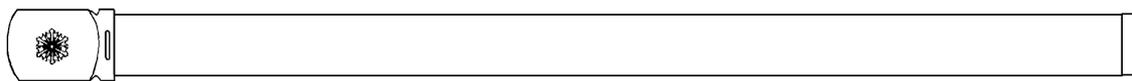
### 3 前金具

金具中央に消防章を付け、銀色とする。

### 4 形状及び寸法

長さは100cm及び120cmとする。

## 概要図



スライドバックル式バンド（制服（夏）・活動服用）  
仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

このバンドは、概要図のとおりとする。

### 2 本帯色及び地質等

(1) 青色のナイロン製とし、巾30mmとする。

(2) バンド端部にホツレ止め金具を付ける。

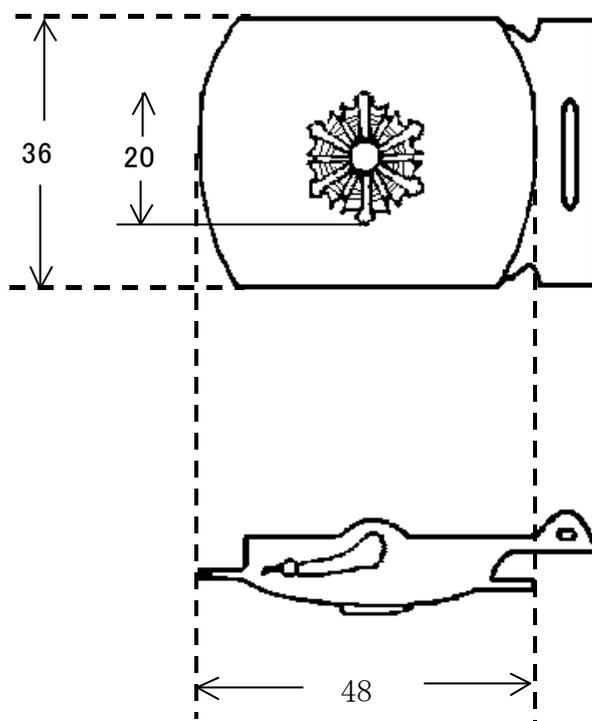
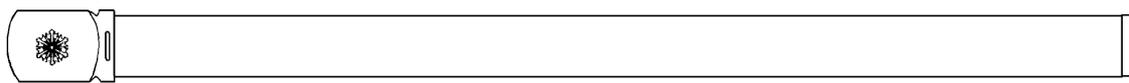
### 3 前金具

金具中央に消防章を付け、銀色とする。

### 4 形状及び寸法

長さは100cm及び120cmとする。

## 概要図



ダブルピンバックル式バンド（活動服用）

仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

このバンドは、ダブルピン50mm巾ナイロンベルトとする。

### 2 色及び地質

(1) 青色のナイロン製とする。

(2) 50mm巾カット可とし、ハトメを10個程度取り付けたものとする。

### 3 前金具

ダブルピン型、銀色とする。

### 4 形状及び寸法

長さは100cm、110cm及び120cmとする。

ダブルピンバックル式バンド（救助服用）

仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

このバンドは、ダブルピン50mm巾ナイロンベルトとする。

### 2 色及び地質

(1) 黒色のナイロン製とする。

(2) 50mm巾カット不可とし、ハトメを10個程度取り付けたものとする。

### 3 前金具

ダブルピン型、銀色とする。

### 4 形状及び寸法

長さは100cm、110cm及び120cmとする。

バンド（革）  
仕様書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

このバンドは、消防吏員が制服着用時に使用するものとする。

### 2 本帯

黒色の本革製とし、巾30mmとする。サイズ穴があるものとする。

### 3 バックル

トップ式バックルで、金具中央に金色の消防章を付け、バックルは銀色とする。

### 4 形状及び寸法

長さは100cm及び120cmとする。

バンド（救急服用）

仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

このバンド（救急用）は、概要図のとおりとする。

### 2 色及び地質

- (1) 白色の合成皮革とし、巾30mmとする。
- (2) バンド中央部分に巾20mmの白の反射テープを付ける。
- (3) バンドの端部にホツレ止め金具を付ける。

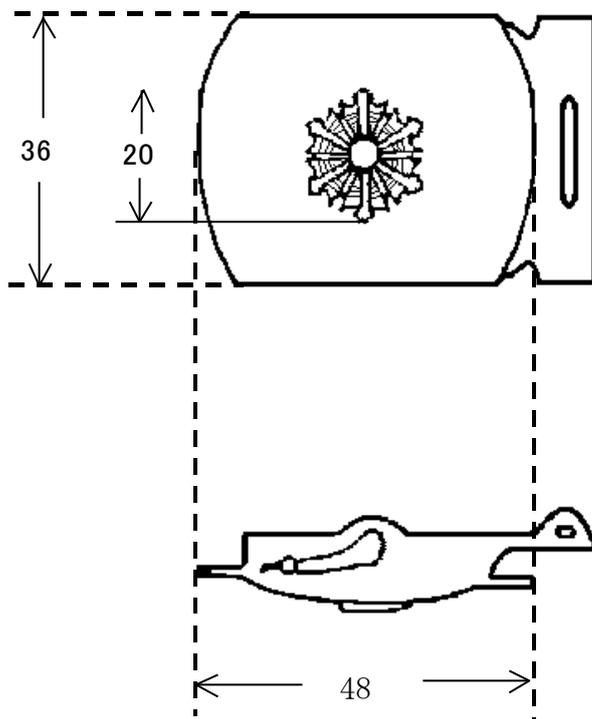
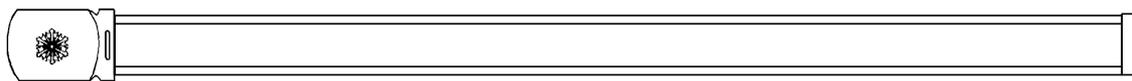
### 3 前金具

金具中央に消防章を付け、銀色とする。

### 4 形状及び寸法

長さは100cm及び120cmとする。

## 概要図



ワイシャツ  
仕様書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 色及び地質

色は白色とし、生地 of 混紡率は概ねポリエステル 65%、綿 35%とする。

### 2 形状

- (1) シングル前で、釦は 6 個付きとする。
- (2) 襟は、台襟付きシャツカラーとする。
- (3) 肩ヨーク切り替えとする。
- (4) ポケットは、左胸にアウトポケットを付ける。
- (5) 袖口は、剣ポロ明き及び袖カフス付きとし、釦を付ける。

ブラウス  
仕様書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 色及び地質

色は白色とし、生地 of 混紡率は概ねポリエステル 65%、綿 35%とする。

### 2 形状

- (1) シングル前で、釦は 6 個付きとする。
- (2) 襟は台襟付きシャツカラーとする。
- (3) 肩ヨーク切り替えとする。
- (4) ポケットは、左胸にアウトポケットを付ける。
- (5) 袖口は、剣ポロ明き及び袖カフス付きとし、釦を付ける。
- (6) 打ち合わせは、右上前とする。

ネ ク タ イ  
仕 様 書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

ネクタイの形状は、概ね概要図のとおりとする。

### 2 形式

男性用ネクタイは、T I X S 製 N S 8 0 0 1 - 2 (又は同色・同質品以上) とし、女性用は T I X S 製 N S 8 0 0 1 - 4 (又は同色・同質品以上) とする。

### 3 色及び柄

紺色を基本としたストライプで罫マーク入りとする。

### 4 材料

ポリエステル100%とする。

## 概要図

### 男性用



### 女性用



## マーク



ネクタイピン  
仕様書

草加八潮消防局

## 仕様

### 1 概要

消防吏員が制服着用時に使用するネクタイピンとする。

### 2 材料

真鍮ニッケルメッキ

### 3 デザイン

消防章の入ったもの。

### 4 サイズ

5 c m

## 別記

### 外部委託における情報セキュリティ遵守事項

#### 1. 基本事項

草加八潮消防組合は、保有する情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するため、消防組合が実施する情報セキュリティ対策の基本的事項を「情報セキュリティ基本方針」として定めている。また、当該セキュリティ対策の有効性及び効率性の確保を目的として、遵守すべき行為、判断等に関する基本的事項を「情報セキュリティ対策基準」として定めている。

消防組合の情報資産を取扱う業務の受注者は、当該基本方針及び対策基準の適用範囲に含まれることから、次の事項を遵守し、消防組合の情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するよう努めなければならない。

#### 2. 情報の分類

受注者は、原則として次の分類を行った上で、情報を保護すること。

消防組合保有情報	消防組合から貸与された情報のこと。
重要情報	消防組合から貸与された情報の内、個人情報、特定個人情報及び非公開情報を含む情報のこと。

#### 3. 情報の保護

受注者は、次の対策に努めること。

共通	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 消防組合の承諾なしに、消防組合保有情報の一部又は全部を第三者へ提供することのない制御すること。</li></ul>
消防組合保有情報	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 消防組合保有情報を取扱う作業従事者を明確にし、その範囲内でのみ取扱うよう制御すること。</li><li>➤ 消防組合保有情報を保管する場所は、作業従事者のみが取扱えるよう制御すること。</li><li>➤ 契約満了時等で消防組合保有情報を消防組合へ返却する際は、受注者内にデータ等が残らないよう消去する手順が確立すること。</li><li>➤ 消防組合保有情報を受注者のファイルサーバ等で電子データとして保有する場合、作業従事者のみがアクセスできるよう制御すること。</li><li>➤ 消防組合保有情報を作業従事者が消防組合に無断で持ち出すことがないよう管理を徹底すること。</li><li>➤ 消防組合保有情報を消防組合と電子メールでやり取りする場合、暗号化等の情報漏えい対策を行った上でやり取りすること。</li><li>➤ 消防組合保有情報を運搬することがある場合、盗難及び紛失対策を行った上でやり取りすること。</li></ul>
重要情報	<p><b>【消防組合保有情報における制限に加えて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 業務従事者のパソコンは、関係者以外からの覗き見防止等の対策を行うこと。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 業務従事者が USB メモリ等の電磁的記録媒体を使って不正に情報がコピーされないよう適切に制御すること。</li> <li>➤ 業務従事者のパソコンは、OS 等を最新の状態とすること。ただし、システムの動作検証のため、過去のOSを使用する必要があるなど、理由がある場合については、この限りでない。</li> <li>➤ 業務従事者のパソコンは、盗難及び紛失時にデータが漏えいしないよう対策が施すこと。</li> </ul>
--	--

#### 4. ネットワークの強靱化対策

受注者は、重要情報を取扱う作業環境を様々な情報セキュリティリスクから保護しなければならない。また、特定個人情報を取扱う環境はインターネットから分離した環境を用意し、そこでのみ取扱うこと。その他、総務省が発行する「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（以下「総務省ガイドライン」という。）」で示された基準を遵守すること。

#### 5. 物理的セキュリティ

受注者は、原則として次の物理的対策を講じること。

管理区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ サーバ等の機器を設置する場所は、管理区域とし管理すること。</li> <li>➤ 外部に通ずるドアは必要最小限とし、鍵、監視機能、警報装置等によって許可されていない立入りを防止すること。</li> <li>➤ 管理区域への入室は、入退室を許可された者のみに制限し、ICカード、指紋認証等の生体認証や入退室管理簿の記載による入退室管理を行うこと。</li> <li>➤ 管理区域に入室する場合、身分証明書等を携帯し、求めにより提示すること。</li> <li>➤ 当該情報システムに関連しない、または個人所有であるコンピュータ、モバイル端末、通信回線装置、電磁的記録媒体等を持ち込ませないこと。</li> </ul>
装置のセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ サーバ等の機器の取付けを行う場合、火災、水害、埃、振動、温度、湿度等の影響を可能な限り排除した場所に設置し、容易に取り外せないよう適正に固定する等、必要な措置を講じること。</li> <li>➤ 通信ケーブル及び電源ケーブルの損傷等を防止するために、配線収納管を使用する等必要な措置を講じること。</li> <li>➤ 電磁的記録媒体を内蔵する機器を受注者以外に修理させる場合、内容を消去した状態で行わせなければならない。内容を消去できない場合、管理責任者は、外部の事業者には故障を修理させるにあたり、修理を行う事業者との間で、守秘義務契約を締結するほか、秘密保持体制の確認等を行うこと。</li> </ul>
通信回線・機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ネットワークに使用する回線について、伝送途上に情報が破壊、盗聴、改ざん、消去等が生じないように十分なセキュリティ対策を実施すること。</li> <li>➤ 外部へのネットワーク接続を必要最低限に限定し、できる限り接続ポイントを減らすこと。</li> </ul>

## 6. 人的セキュリティ

受注者は、業務従事者に対し必要な情報セキュリティ教育・トレーニングを行うこと。また、消防組合の求めに応じてその実施記録の提示を行うこと。なお、業務従事者に対し、異動、退職等により業務を離れる場合には、利用していた機器等を返却させるとともに、その後も業務上知り得た情報を漏らしてはならない旨を合意させること。

## 7. 技術的セキュリティ

受注者は、次の情報セキュリティ対策を行うこと。

アクセス制御	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 原則として、情報システム及びパソコンを使用する際は、業務従事者ごとに ID を発行すること。</li><li>➤ 業務従事者の ID は、本人以外がアクセスできないよう認証方法は最良の方法を選択すること。</li></ul>
開発・導入	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 開発で用いる環境に対して、管理責任者の管理の元で適切な対策を行うこと。</li><li>➤ システム開発の責任者及び作業者が使用する ID を管理し、開発完了後、開発用 ID を削除すること。</li><li>➤ システム開発、保守及びテスト環境とシステム運用環境を分離すること。</li><li>➤ 重要情報を、テストデータに使用しないこと。</li></ul>
不正プログラム対策	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 業務従事者が操作するパソコン等は、コンピュータウイルス等の不正プログラム対策ソフトウェアを導入し、パソコン等に常駐させること。</li><li>➤ 不正プログラム対策ソフトウェアのパターンファイルは、常に最新の状態に保つこと。</li></ul>
不正アクセス対策	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 外部からの不正アクセス及び内部不正に備え、情報漏えいを防止するために必要な対策を講じること。</li><li>➤ 不正通信、不正操作等を牽制するための必要な監視を行うこと。</li></ul>

## 8. 監査等への協力

受注者は、消防組合の求めに応じて立入検査等に応じること。

## 9. その他

受注者は、上記以外の基準が必要となった場合は、総務省ガイドラインを参照するとともに、消防組合と協議し対策を行うこと。

以上